



地域
展開型

伝統文化親子教室事業
優良事例調査
3

阿波木偶箱まわしに使用される人形

阿波木偶箱まわし保存会による実演

祝福芸：「えべっさん」による福分け

東みよし町文化協会研修会で伝承教室成果発表「三番叟まわし」を実演

東みよし町の伝統文化親子教室事業の担当者にお話を伺いました

阿波木偶箱まわし伝承教室

教室に参加しやすいきっかけ作りとして、学校と連絡を密に取りながら、箱まわし保存会様のイベントや体験会で児童・生徒の興味が沸いている時に募集のチラシを配るなどして教室への参加を促す工夫を行いました。十数年続いている教室であり、学校の先生方も積極的に児童・生徒に声掛けをしてくれていますので、大変助かっております。

夏休みの練習期間においては、高校生・大学生のOBメンバーも練習に駆けつけ、熱心に指導してくれています。小学生から大学生までのメンバーの絆は強く、良い関係性が保たれています。

成果発表の機会を増やすため、本年度は地元、東みよし町で文化協会の研修会に出演を果たすことができました。

観衆の前で披露する事は、子どもたちにとって大きな経験になると思いますし、今後の「やりがい」にも繋がると考えます。

中学校を卒業したら活動から遠ざかってしまう子ども達も一定数いる中で、継続して参加してくれる高校生や大学生が、学んできた阿波木偶箱まわしの魅力を後輩たちに惜しみなく指導してくれる姿勢は大変頼もしく思います。

今後も伝承教室を継続し、多くの伝統文化の担い手を育成するため、サポート体制の充実や学校・保存会の皆さまと協力しながら活動を継続していきたいと考えています。



東みよし町教育委員会 生涯学習課 曾我部 弘輝

阿波木偶箱まわし伝承教室では、教育委員会と協力して、校区の学校と公民館などでチラシなどの配布や広報活動をしており、教育委員会のものと異なる子ども向けの簡単にプリントしたものも独自に配布していますが、特徴的なのが、



芝原生活文化研究所 辻本 一英先生

味関心に繋がっております。歴史的・文化的な話を子ども達に伝えてその折に阿波木偶箱まわし伝承教室への誘いや声掛け等を行っております。また、出前授業で博物館に置いてあるような人形を実際に見てさわって、本物から伝わる魅力を子ども達も感じる事が伝承教室への興味関心に繋がっております。

阿波木偶箱まわしの継承について、人形は少しずつ集まってきましたが、有形（人形など）・無形（演者）揃った文化財なので、この伝統文化を残すためには人材の育成が重要です。将来的にはこの文化遺産を彼ら（この町）に帰したい。この子ども達が自分たちで自分たちの街の門付けに家を回ることが出来る環境ができれば素晴らしいと考えます。ずっと先になるかもしれないけれど子ども達も望んでいる様です。

学校にて芝原生活文化研究所と阿波木偶箱まわし保存会が出前授業を行って、毎年、阿波木偶箱まわしの実演と、私の講演を中学生全員に聞いてもらう形を取っております。

関係者(関係機関)

東みよし町教育委員会
阿波木偶箱まわし保存会
芝原生活文化研究所
箱まわしサポート倶楽部
町内小・中学校

指導者

講師：辻本 一英
(芝原生活文化研究所)
講師：中内 正子
(阿波木偶箱まわし保存会会長)
講師：南 公代
(阿波木偶箱まわし保存会)

補佐：阿波木偶箱まわし伝承教室の卒業生を含む阿波木偶箱まわし保存会のメンバー

教室参加者

対象：小学5年生～中学3年生
2022年度：全体で延べ 106人
2023年度：全体で延べ 70人
2024年度：全体で延べ 136人

OBを含めれば4人が3年連続で受講

概要

徳島県の正月の習俗として江戸時代から定着していた「三番叟まわし」は、一時期東みよし町から消えかけようとしていましたがその後、阿波木偶箱まわし保存会会長が最後の一人の伝承者に弟子入りして、その技術や門付先を受け継ぎ、何とか現在に伝承されています。

東みよし町では伝統文化の担い手が不足しており、地域の小中学生に継承していく機会が限定されているので、教育委員会が子ども達が伝統文化(阿波木偶箱まわし)を体験・披露できる教室を町内で開催して、関心を持つ子どもを増やし、今後の担い手を育成しています。

活動スケジュール

2024年6月
募集期間である6月に、町内中学校において箱まわし保存会による実演・講演を実施し、子どもたちに実際の人形(千歳、翁、三番叟とえびす)に触れ、箱まわしを体験してもらい、教室参加へのきっかけを図る。

7月～8月 計6回の伝承教室
(各回15人程度参加)

10月 東みよし町文化まつりで伝承教室成果発表
11月 むつみ祭で伝承教室成果発表
12月 予行演習(大会の流れを稽古)
12月 県民文化祭の大会に参加して伝承教室の成果を発表

教室代替事業の優良事例、担い手を育成する取組
阿波木偶箱まわし伝承教室

活動風景

ふれアリーナみよしで夏休み期間に計6回の稽古を行います。



稽古風景



稽古風景



稽古風景

各人形に分かれて、人形の操作と語りの合わせ稽古を行います。



稽古風景



稽古風景

箱まわしジュニアチームとして県民文化祭の大会に参加するため、伝承教室を卒業した先輩にも手伝っていただき、全体練習を行っています。



徳島県民文化祭公演に出演

12月14日(土)徳島県立阿波十郎兵衛屋敷で行われた県民文化祭に箱まわしジュニアチームとして出演しました。



稽古風景

伝統文化親子教室事業 訪問インタビュー

受講生訪問インタビュー



【Sさん】

中学校2年生2年目

■教室に通い始めた理由は？
伝統芸能に興味があってYouTubeを見ていた時にオススメの動画として出てきたのを見て興味を持ちました。

■教室に通って初めての感想は？
大変なのは、人形が重いので持っていて手が痛いですが(笑)
最初は同級生がいなかったけれど、今年は友達を誘って参加したので楽しいです。

■これからの展望や目標は？
今後の目標として、全部の人形を扱えるようになりたいです。



Sさん

卒講生訪問インタビュー



Hさん・Fさん

Tさん

Kさん・Yさん

【Yさん】
【Kさん】
【Fさん】
【Hさん】

高校1年生4年目
高校1年生4年目
高校1年生4年目
高校1年生4年目

■教室に通い始めた理由は？
学校でもらった案内のチラシを見て申し込み、教室に通い始めました。

■教室に通って初めての感想は？
知らない事を知ることができた。
新鮮だった。
友達が増えた。
思ったより難しいが楽しい。



卒業生3名で洋舞(シェリト・リンドを披露)



■教室を卒業してから
中学生の時は、辻本先生の授業でクラス皆が三番叟を知っていたけれど、高校生になった時に色々な地域から来た人がいるので三番叟の事を知らない人が多く、これは三番叟を広めるチャンスと思っています。

■教室卒業後の伝統文化との関り方は？
4名とも同じ高校に通っていますが、4名とも阿波木偶箱まわし保存会に入会して活動しています。

■今後の目標は？
もっと、阿波木偶箱まわしを広めていきたいと考えています。

【Tさん】

大学3年生9年目

■教室に通い始めた理由は？
人形が好きで、先生から進められて教室に通いはじめました。

■教室に通って初めての感想は？
最初は人形の動かし方も分からず難しかったけれど、やりがいがありました。

■教室卒業後の伝統文化との関り方は？
大学でも何か声が掛かったら参加しています。

■今後の目標は？
また、保存会の皆さんと共に伝承教室のお手伝いもしています。

■今後の目標は？
大学で幼児教育の勉強をしているので、将来的には子ども達に箱まわしをみてもらって、人形や伝統芸能の魅力を伝えていきたいなと思っています。

